

日本学校教育相談学会

THE JAPANESE ASSOCIATION OF SCHOOL COUNSELING AND GUIDANCE

栃木支部会報 2010.03.20

NO.12

○第21回総会・研究大会（沖縄大会）報告

「リストカットする中2女子への援助」事例発表を終えて 村上 恵子先生（栃木県教育研究所相談員）

○第21回栃木支部研究発表会報告 コメンテーター 伊澤 裕先生（宇都宮市教育センターましかどの学校）

○精神医学特別講座 「対人関係療法」 水島 広子先生

（水島広子こころの健康クリニック院長）

○発達障害特別講座 「軽度発達障害児における問題行動の考え方と対応」

山岡 祥子先生（臨床心理士）

○カウンセリング特別講座・合同研修会

「元気の出るカウンセリング」松原 達哉先生（東京福祉大学心理学部長）

○栃木支部からのお知らせ

○第21回総会・研究大会（沖縄大会）

猛暑の8月1日から3日間、沖縄国際大学において、瀬名波実行委員長を中心に第21回総会、並びに研究大会が行われました。本支部からも丸山理事長他数名の参加者があり、栃木県教育研究所相談員の村上恵子さんが事例発表を行いました。

「リストカットする中2女子への援助」事例発表を終えて

村上 恵子（栃木県教育研究所相談員）

事例の概要；リストカットや、保健室逃避を繰り返す女子生徒への援助をスクールカウンセラーとして関わった事例である。学校が家庭の役割をも担ってしまったことが問題行動を助長させているとアセスメントし、役割分担の明確化を図った。具体的には（1）教職員への援助として①事例研究会で生徒のリストカットの共通理解を図った。②学校の規則の中でリソースに着目した援助を図った。（2）保護者への援助として①子どもの理解と夫婦の協力を促した。その結果、リストカットの改善など問題行動の変容を促すことができた。援助過程においては、管理職が積極的にSC活用を教職員に働きかけてくれた。おかげで教職員と十分話し合い、早期に学校ぐるみで対応できたことが有効であったと考えられる。リストカットは思春期に見られる自傷行為で、先生方にとっては解決困難な問題として関心が高い。そのため参加者も多く質疑も活発に行われた。座長である香月利文先生から「医療や保護施設にリファーするような重い事例もある。その判断が大事。」とのコメントをいただいた。

最後に会員並びに役員の方々の応援をいただき、無事発表を終えることができたことに感謝したい。

青い空と白い珊瑚礁の美ら沖縄で、「メンソ〜レ」の歓迎を受け心に残る思い出ができました。



○ 『栃木支部研究発表会』 報告

平成21年10月31日 コメントーター：伊澤 裕先生

平成21年10月31日(土)教育会館2階会議室において日本学校教育相談学会栃木支部月例研修会が行われた。コメントーターにまちかどの学校の伊澤裕先生を迎え3つの事例が発表された。

- ① 事例1 松本 直美 先生 下野市立吉田西小学校
- ② 事例2 原沢大生未 先生 栃木県立矢板東高等学校定時制
- ③ 事例3 岡本 幸二 先生 栃木県立栃木工業高等学校

(斉藤 誠一郎 記)

○ 「対人関係療法」を受講して

講師 水島 広子先生

(水島広子こころの健康クリニック院長)



2009年12月12日(土)、教育会館5Fの小ホールで県支部会の研修会が開催された。講師は、慶應義塾大学医学部の水島広子氏。氏は、対人関係療法の専門クリニックを開院しており、日本における対人関係療法の第一人者といえる。

講演は、まず IPT(Interpersonal Psychotherapy;対人関係療法)の説明から始まった。精神療法は、一般に、焦点を絞り込めば絞り込むほど短期に効果が表れると言われている。さらに IPT では、「重要な他者」との「現在の」関係に焦点を当てて治療するものであることを力説された。IPT では、治療過程がある程度マニュアル化さ

れており、治療法がきちんと定義されているので効果のデータが正確にとることができ有効性が検証されていることも報告された。もともとは、うつ病の治療法として開発されたものだが、その後、摂食障害・PTSD など様々な状態に対する治療法として手を加えられているとのことである。

認知療法が、主として「個人のものとのとらえ方」に焦点を当てるのに対して、主に、日常のストレスの原因は“対人関係”にあると強調されている点が興味深かった。

(八島 禎宏 記)

○ 発達障害特別講座

演題「軽度発達障害児における問題行動の考え方と対応」

講師 山岡 祥子先生 (臨床心理士)

平成22年1月23日(土)教育会館1階小ホールにおいて「軽度発達障害児における『問題行動』の理解と対応～対応が難しい子どもとのよりよい関係の築き方～」という演題で講師に臨床心理士の山岡祥子先生をお招きし、発達障害特別講座が行われた。

午前10時からお昼休みを挟み、午後4時まで丸一日の有料の研修会であるにもかかわらず、定員を上回り、申込を断ったほどで小ホールが一杯になり、活気に溢れるなか始まった。

まず、ペアレント・トレーニングを学ぶ際に基礎となっている応用行動分析理論(ABA理論)を学んだ。

理論は何となくイメージがつかめずに困惑していたが、自分の関わった生徒や子どもを頭において演習をしてみると、とても興味深いものであった。特に問題行動への対応において適切な行動が増えると問題行動が減るという観点から「問題行動のABC分析」で先行事象と後続事象を操作では目からウロコであった。

「子どもとポジティブな関係の築き方～ペアレント・トレーニングのエッセンスから学ぶ～」において子どもの行動を「①望ましい行動②望ましくない行動③許しがたい行動・やめさせたい行動」の3つに分類し対応を考える。最初③の許しがたい行動にいろいろ書いていたが具体的に書いていくことを指示され、徐々に数が減りとても少ない行動になった。また、「望ましい行動を増やすには、肯定的注目を与える」、「望ましくない行動を減らすには「子どもの行動を無視」、「効果的な指示の出し方CCQ(あなた自身が穏やかに、子どもにもう少し近づいて、声のトーンを抑えて)」など今すぐにも実践できそうな方法を教えてもらった。

しかし、ペアレント・トレーニングにおいて、注意すべき点多々あることを忘れないで。丸一日の研修であったが、とても時間が早く過ぎていきもっともっと先生の講義を聞きたいと思った受講生は私だけではないはずだ。これをきっかけに応用行動分析、ペアレント・トレーニングに興味を持ち、さらに研鑽を積んでいく人が増えるのではないかと思う講習会であった。

(齋藤誠一郎記)



○ カウンセリング特別講座

演題「元気の出るカウンセリング」

講師 松原 達哉先生

(東京福祉大学心理学部長、日本カウンセリング学会理事長)

平成22年2月6日(土)教育会館5階大ホールにおいてカウンセリング特別講座

が行われました。当日、「まだ、受講できますか?」という電話が事務局に入る程で、定員150名の大ホールが満員でした。



講師の先生は、東京福祉大学心理学部長、日本カウンセリング学会理事長を勤められている松原達哉先生でした。演題は元気の出るカウンセリングと銘打ち、不登校・ひきこもり・無気力学生を勇気付ける方法として『LAC(ラック)法』:生活分析的カウンセリング法という日本独自で開発された新しい技法を紹介されました。

LAC法は行動療法、来談者中心療法、KJ法、その他のカウンセリング技法の応用・開発された統合的カウンセリング法で、その理論に関しては、周辺技法であるグループカウンセリング、WAI法、Life line等の説明

とグループカウンセリングの演習を交えて講座は展開されました。

講座の前半は、ウォーミングアップを兼ねて、筋弛緩法によるリラクゼーションとグループカウンセリング



として自己紹介、他者紹介（4～6人、全員の前）により受講生同士で演習を行ないました。演習を行っている受講生の様子を観察していたスタッフには、受講生の緊張や警戒が和らいでゆく様子を読み取ることができました。このような状態では自己洞察や他者に対する関心が高まり、ここにLAC法を行えば自己変容しやすい状態になり、元気になる（無気力からの脱却）のであらうと思いました。限りある講座の時間内では、ウォーミングアップとLAC法の雰囲気に触れる程度で、技法自体を詳しくお話しされるには時間が足りなかった様子で残念でした。しかし、受講者は十分に松原先生から「元気」をもらった様子で、講座終了後もあちらこちらで談笑している人達を見かける事ができました。

（藤浪 直紀記）

○ 栃木支部事務局からのお知らせ

※栃木支部 20 周年記念事業のお知らせ

平成22年12月に栃木支部が結成され今年で20周年を迎えます。下記の通り、20周年記念事業が理事会で提案されました。この機会に皆様にお目にかかれることを楽しみにしております。

栃木支部創立 20 周年記念事業

日 時 : 平成22年12月11日 17:30より
場 所 : コンセーレ ロイヤルホール
会 費 : 未定
* 12月11日の講演会の後に開催します。

（担当 伊澤 裕理事）

※「研究紀要」の原稿を募集します。

今年度は「研究紀要」を発行いたします。是非この機会に、日頃の実践研究の成果を発表していただきたいと思っております。改めて、原稿募集いたしますが、学校カウンセラーの認定申請や更新ポイントになりますので、ご準備いただければ幸いです。

※平成22年度支部総会の日程が決まりましたので、お知らせします。

日 時 : 平成22年5月29日 13:00より13:30
場 所 : 栃木県教育会館 5F 小ホール
講演会 : 13:30～16:00
 カウンセリング特別講座
 「学校カウンセリングとソーシャルスキルトレーニング」
講 師 : 小林 正幸先生

※支部理事長「丸山隆先生の出版記念祝賀会」のお知らせ

朝日新聞に連載中のコラム「心晴れたりくもったり」の第二弾が昨年末に出版されました。その出版記念祝賀会のご案内を同封いたしましたので、ご参加下さい。

編集長より

今年が支部創立20周年になります。編集部といたしましては、この節目に、研究紀要発行に合わせ、記念誌を編纂したいと考えています。

会員の皆さまのご協力をお願いすることがあると思いますが、宜しくお願いいたします。

日本学校教育相談学会栃木支部

〒320-0066 宇都宮市駒生 1-1-6 教育会館内

栃木県教育研究所相談部 日本学校教育相談学会栃木支部事務局

TEL 028-621-7274 FAX 028-627-5682 (事務局長 谷津)

E-Mail : gakkai@t-rk.jp または soudan@t-rk.jp

(発行責任者 丸山 隆 / 広報担当者 藤浪 直紀)